

2017年8月31日

由布市議会 議長
溝口 泰章 様

由布市湯布院町川上 3105-2
谷 千鶴 印

過疎化・超高齢化でも費用対効果の高い自家用有償運送を、
公助と共助で進めましょう

《陳情の趣旨》

由布市のコミュニティバスは4条許可ですが、機動力のあるタクシーですら定時定路線運行で、これでは停留所まで歩いて行ける人しか利用できません。住民の間に不公平が生じており、費用対効果でも、とても非効率です。

今年、H19年の地域公共交通活性化再生法から10年。先月、「地域公共交通の活性化及び再生の将来像を考える懇談会」の提言が公表されました。これをもとに、具体的な方策が検討され、新たな取組が進められます。

過疎地を多く抱える由布市では、このような方法はのでしょうか？

主要幹線は4条バス、4条タクシーは予約制送迎で運行。そして、現行のスクールバスや地域幹線などは、業者委託による公共交通空白輸送。地域住民の共助による過疎地有償運送で、生活の足を確保。福祉有償運送もほしい。「登録を要しない運送」には、これらでもできない部分をカバーしてもらいます。

過疎地自家用有償運送は、当面は旧3町中心部から遠い地域でユーバスへの乗り継ぎと地域内移動とに限定すれば、タクシーとの競合はありません。早急に運営協議会を立ち上げ、承認していただきたいです。（競合の状況を見て、運行可能地域を徐々に拡大）

NPOなどを立ち上げて、やってみようという自治体を支部にすると始めやすいのではないのでしょうか？

公共交通会議の下部組織として、知識・関心ある市民と当事者などによる「公共交通運営委員会」（仮称）をつくり、これが主体となって改正道路運送法をフル活用した抜本的見直しに早急に着手していただきたいです。

議員の皆さんの賛同と市長への働きかけをお願いします。

《趣旨の説明》

H26年度のユーバスの実車単価は、大分バス342円/km、亀の井バス395円/km、ジャンボタクシー419円/kmです。一方、似たような環境を走る大野竹田バス、大交北部バスの実車単価はそれぞれ168円/km、142円/kmです。コミュニティバスは、片道回送の路線があるので、多少割高になるのは仕方ないのですが、高すぎる気がします。今年度、亀の井バスは22%値上げで、実車単価は480円/kmを越えます。（大分バスの値上げはわずか）

現在の運行方法・委託方法を大胆に見直さないと、安心して免許返納できる由布市は作れません。

ところで今、由布市では「地域公共交通網形成計画」、大分県では「大分県中部圏地域公共交通網形成計画」を策定中です。これにより、民間事業者が補助金を受けやすくなるそうです。

挾間から椎迫にむけて道路が整備中です。大道トンネルを通らずに大分市への通勤通学がしやすくなれば、住宅が増え大分バスの路線が増えるでしょう。阿蘇・福岡⇄湯布院⇄別府は亀の井バスのエリア。インバウンドや団塊世代を誘客し、マイカーによる渋滞緩和にも役立てたい。

業者さんも、送迎する側の住民の皆さんも、共存共栄できる道を一緒に考える場がほしいです。